



～さらに安全・安心なまちをめざして～

セーフコミュニティ通信

第4号



発行 平成28年4月 郡山市セーフコミュニティ推進協議会

平成27年度第2回郡山市セーフコミュニティ推進協議会を開催！

平成27年度第2回目となるセーフコミュニティ推進協議会が、去る3月17日（木）に市役所本庁舎特別会議室で開催されました。

セーフコミュニティ推進協議会は、平成27年5月に、市内42団体・機関（現在は43団体）で設立し、セーフコミュニティに取り組むべき6つの分野の対策委員会を設置し、データを用いてけがや事故を分析するなどの活動に取り組んで参りました。

今回は、取り組むべき重点課題を決定した経緯など、各対策委員会のこれまでの取り組みに関する中間報告として、推進協議会を開催しました。

推進協議会員の皆さんは、各対策委員会からの報告を、時にはメモをとりながら、安心・安全なまちづくりのための取り組みに耳を傾けていました。



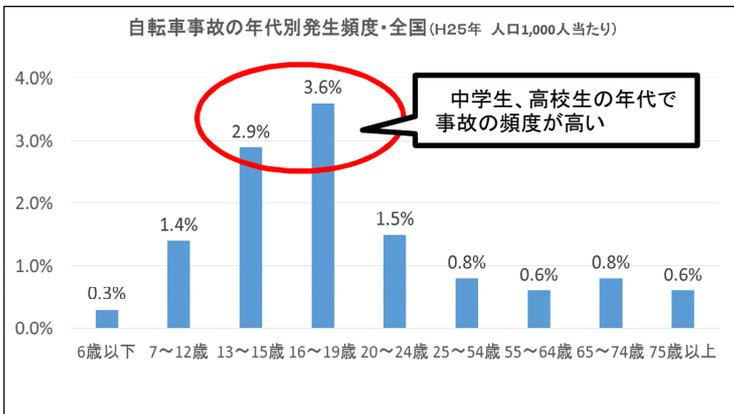
品川会長（市長）あいさつ



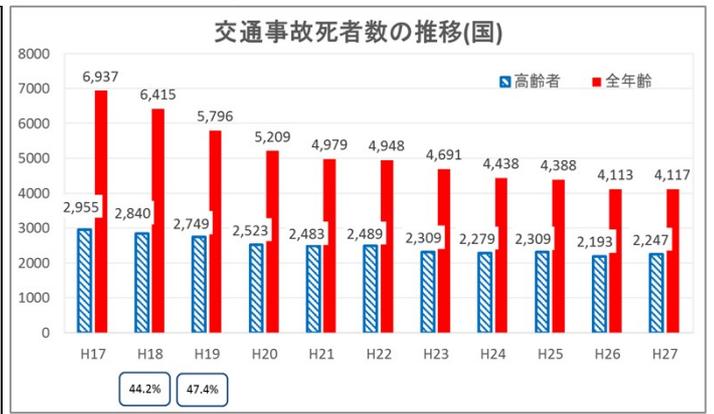
多くの推進協議会員が出席

～ 各対策委員会の報告内容 ～

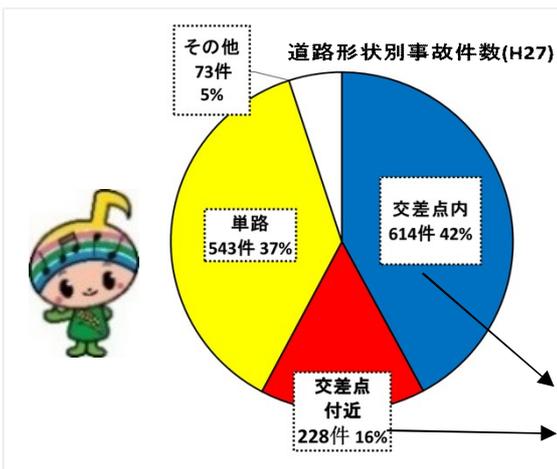
交通安全 対策委員会



出典：公益財団法人交通事故総合分析センター「交通事故統計年報H25」



出典：警察庁統計



出典：郡山警察署、郡山北警察署

データから見えた取り組むべき重点課題

- ・ 高校生の自転車事故が多い
- ・ 高齢者の事故は重傷になりやすい
- ・ 交差点での事故が多い



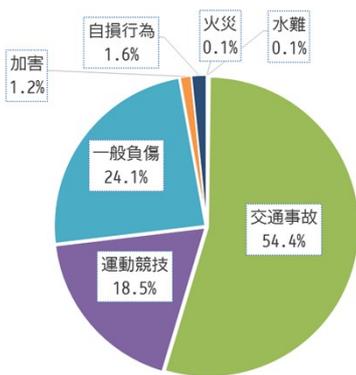
柳沼副委員長（写真右側）が発表



発表の様子

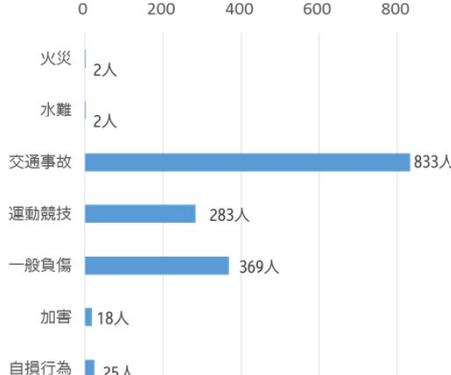
こどもの安全 対策委員会

小学生から高校生までの要因別救急搬送者割合

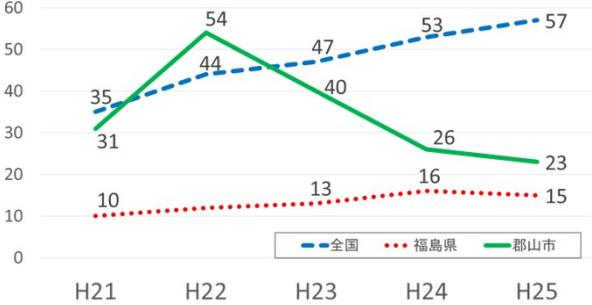


出典：郡山地方広域消防組合「平成22～26年 救急搬送データ」

小学生から高校生までの要因別救急搬送者数

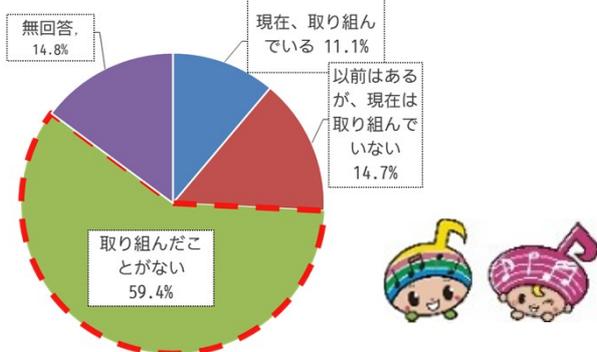


(単位：人) 人口10万人当たりの児童虐待相談件数推移



出典：厚生労働省「平成21～25年度 児童相談所における児童虐待相談対応件数」
こども家庭相談センター「平成21～25年度 相談等の取扱件数推移」

子どもの安全・安心の取り組み状況



出典：郡山市セーフコミュニティ「安全・安心なまちづくりについての意識調査（調査時期 H26年12月）」

データから見えた取り組むべき重点課題

- ・ こどもの交通事故が多い
- ・ 虐待を受けているこどもが増えている
- ・ こどもたちの安全な居場所がない



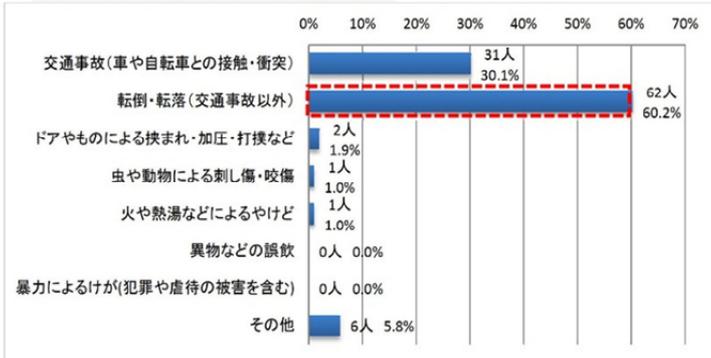
取り組み報告を行う吾妻委員長（写真中央右側）



会場の様子

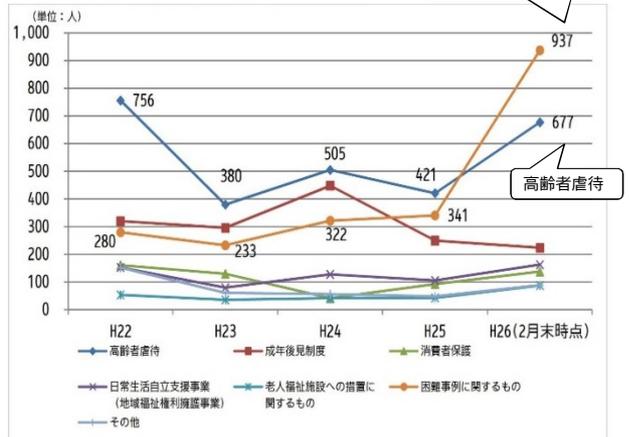
高齢者の安全 対策委員会

65歳以上の方の事故・けがの種類（回答者：103人）



郡山市セーフコミュニティ「安全・安心なまちづくりについての意識調査（調査時期 H26年12月）」

郡山市の権利擁護における相談件数推移



(郡山市介護福祉課「平成22～26年度 センター別包括的支援事業の実施状況」より)

データから見えた取り組むべき重点課題

- ・ 高齢者の転倒事故が多い
- ・ 高齢者虐待の相談が多い
- ・ 認知症の方への対策
- ・ 高齢者の交通事故が多い



取り組み報告を行う船山委員長（写真中央）



発表の様子

要介護度別認定者数



(地域包括ケア推進課「第六次郡山市高齢者福祉計画・郡山市介護保険事業計画」より)

自殺予防 対策委員会

性別・年齢別・原因別の自殺者数(郡山市)

H28年1月4日現在

出典：内閣府自殺対策推進室 警察庁生活安全局生活安全企画課 自殺状況より

※警察庁の「自殺統計」は、市外の人と外国人が含まれる数値
 (厚生労働省「人口動態統計」は、日本人を対象とし住所在地で計上しているので「自殺統計」の人数と異なる)

発見地(郡山市で発見された)自殺者数

年	自殺者数	性別	年齢別							原因別(原因は複数)										
			20歳未満	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80以上	計	家庭問題	健康問題	経済生活問題	勤務問題	男女関係	学校問題	その他	不詳	計
H25	60	男	2	7	6	5	6	9	4	3	42	4	14	6	3	4	1	2	15	49
		女	0	3	1	6	1	2	0	5	18	2	11	3	0	1	0	2	6	25
		計	2	10	7	11	7	11	4	8	60	6	25	9	3	5	1	4	21	74
H26	88	男	1	8	13	12	14	6	5	4	63	6	24	15	3	3	1	2	21	75
		女	0	3	3	0	6	4	6	3	25	3	17	0	0	2	0	1	7	30
		計	1	11	16	12	20	10	11	7	88	9	41	15	3	5	1	3	28	105

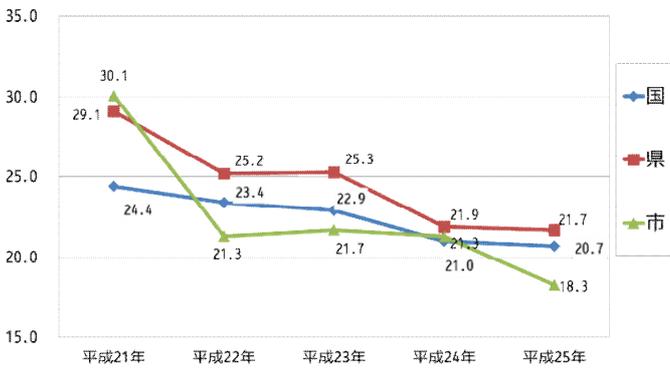
自殺による死亡者数・死亡率の推移

H28年1月18日現在

出典：人口動態統計
 厚生労働省「人口動態統計」は、日本人を対象とし住所在地で計上している。
 ※市町村は年齢別の統計はなし

	年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年
郡山市	自殺者数(人)	101	101	93	99	73	102	72	72	70	60	71
	男性	89	75	64	67	59	81	61	49	44	44	52
	女性	12	26	29	32	14	21	11	23	26	16	19
福島県	自殺者数(人)	579	605	618	589	535	591	508	502	428	420	421
	死亡率(人口10万対)	27.6	29.1	29.9	28.6	26.2	29.1	25.2	25.3	21.9	21.7	21.8
全国	自殺者数(人)	30,247	30,553	29,887	30,827	30,229	30,707	29,554	28,896	26,433	26,063	24,417
	死亡率(人口10万対)	24.0	24.2	23.7	24.4	24.0	24.4	23.4	22.9	21.0	20.7	19.5

自殺による死亡率(人口10万対)



出典：厚生労働省「人口動態統計」

データから見えた取り組むべき重点課題

- 働き盛りの自殺が多く、若者の自殺が減少しない
- 健康や経済問題が原因の自殺が多い
- 自殺相談窓口などが知られていない



取り組み報告を行う若月委員長 (写真中央右側)



発表の様子

防 犯 対策委員会

刑法犯認知件数比較 ※人口10万人あたり



出典：警察庁、郡山警察署、郡山北警察署

データから見えた取り組むべき重点課題

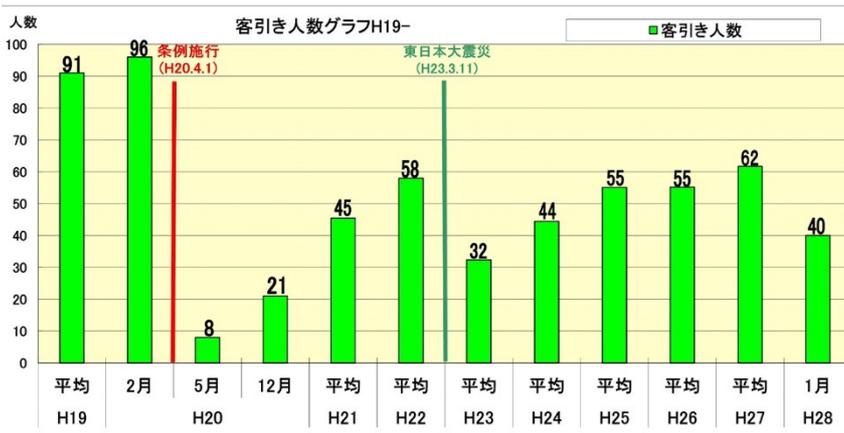
- 駅前の治安が悪い
- 地域力が低下してきている
- ハイリスク集団(女性、子ども、高齢者)の被害が増加傾向
- 情報モラルを学ぶ機会が少ない
- 防犯の意識、知識が低い



取り組み報告を行う佐藤委員長 (写真中央)



会場の様子

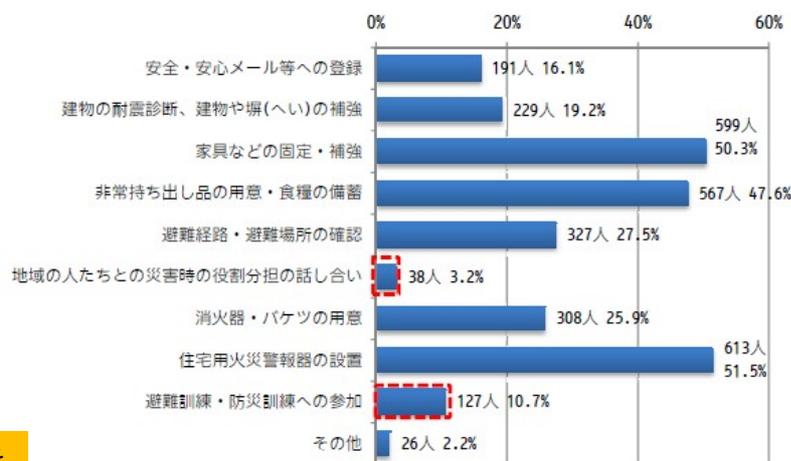
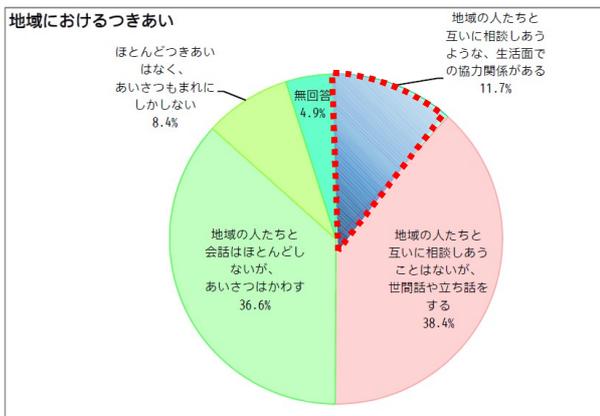


出典：郡山市客引き等実態調査(毎月最終金曜日夜の状況)



・地域活動におけるおつきあいについて

・災害などに対する家庭での対策について



会話や立ち話などを含めコミュニケーションがとられているのは全体の半分約50%

生活面での協力関係を築いているのはおよそ12%のみ

あいさつもまれにしかない方がおよそ8%

地域の人たちと災害時の役割分担の話し合いをしているのはわずか3%のみ

避難訓練・防災訓練の参加については約11%にとどまっている

地域コミュニティが低下している・・・

出典：郡山市セーフコミュニティ「安全・安心なまちづくりについての意識調査（調査時期 H26年12月）」

現時点における取り組むべき重点課題

- ・火災、自然災害等の不安が大きい、防災意識は低い
- ・地域コミュニティが低下している
- ・労働災害が県平均より多い



影山委員長（写真中央）が発表



発表の様子

今後の会議開催予定

今秋には、海外のセーフコミュニティ認証審査員をお招きして、これまでの取り組みを報告して認証審査員から助言をいただく「事前指導」の開催を予定しております。

各対策委員会では、けがや事故の原因を追究し、事前指導に向けた取り組みを行っていく予定です。



発行 郡山市セーフコミュニティ推進協議会

〒963-8601

福島県郡山市朝日一丁目23番7号

事務局 郡山市市民部市民安全課セーフコミュニティ推進室

電話 024-924-2151 Fax 024-921-1340

e-mail simi.nanzen@city.koriyama.fukushima.jp

